

住みたい 住み続けたいまち 海老名

令和7年4月1日号
No.1298

2025

4 / 1

広
報

祝な



海老名市
住みたい 住み続けたいまち

市の消防組織

さまざまな業務の消防職員が協力し合って市民の安全を守っています。市の消防組織と主な業務を紹介します。

消防総務課

消防署・消防団の建物や被服の整備などを行い、現場の職員・団員が動きやすい体制を整えています。



警防課

現場の職員が適切な災害活動ができるように消火栓・防火水槽の整備などを行っています。市民対象の講座で、応急手当ての知識を広めています。



予防課

施設の立ち入り検査を行うなど、市民の安全を守るため火災予防の指導をしています。



管理課

消防署の窓口業務や、資機材の購入、職場体験の対応などを行い、職員が災害活動に集中するための環境を整えています。



警備課 災害時に最前線で活動します。4隊に分かれています。

指揮隊

火災などの災害現場で消防隊などが円滑に活動できるよう、安全管理や情報収集を行い、指示を出します。



消防隊

消防車で火災現場に駆けつけ、消火や危険物排除を行います。自然災害などにも出動します。



救助隊

火災・交通事故・水難などから人命を救助します。特殊な装備と専門技術を備えており、オレンジ色の活動服を着ています。



救急隊

急病人やけが人に手当てし、救急車で素早く病院へ搬送します。隊員の中でも「救急救命士」は高度な救命処置を行うことができます。

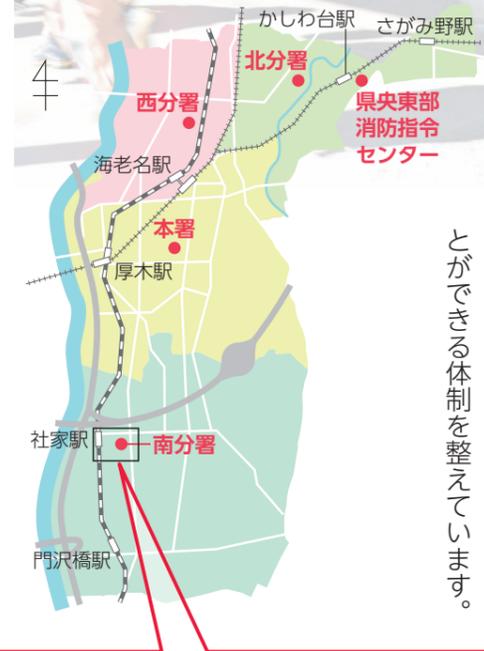


海老名を守るしごと

☎ 消防総務課 046(231)5153



市消防本部は、緊急時に備えて市民の安全と安心を守っています。消防職員の活動を支える施設や、日々の業務に迫ります。



海老名市・座間市・綾瀬市からの119番通報は、「県央東部消防指令センター」で受けています。救急要請を受けると、職員が素早く状況を判断し、3市の救急隊が市域を超えて出動します。来年度からは大和市を加えた4市で同センターを運用する予定です。

本市の消防署は本署・北分署・南分署・西分署の4力所あり、より迅速に現場に到着することができ体制を整えています。

市の消防施設

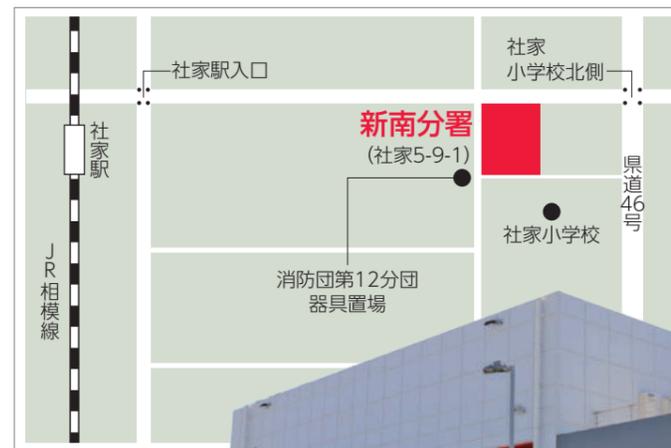


消防署南分署をリニューアル

4月1日から新たな建物で運用を開始しました。旧施設が竣工から40年が経過し、老朽化が進んでいたことから、移転・建て替えを行いました。旧施設は引き続き訓練場として活用します。

「より速く」現場へ

南分署は県道46号に最短でアクセスできます。今後人口が減っても交通基盤が維持され、生活拠点と位置付けられる社家・中野・門沢橋地区への現場到着時間の短縮を図り、恒久的に安全・安心なまちを目指します。



市で初の大型折り戸

大型折り戸は透明の強化ガラスで構成され、耐久性に優れています。夜間でもガラス越しに消防車が見えることで、市民に安心感を与えるねらいがあります。



屋外にAEDを設置

緊急時に即座に使用できるように、消防署北側の屋外にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。



浸水時も安心

風水害などの浸水時も庁舎機能を維持するため、隊員待機室と指令システムなどの重要機器を2階に配置しました。水害発生時に市民などが一時的に緊急避難できるように、「屋上直通屋外階段」も設置しました。



えびくにあや像を設置

南分署北側に、放水をするえびくにあの石像が設置されました。消防団第3分団員がデザインしました。





若手職員に聞きました

- Q1：消防職を志したきっかけ
- Q2：仕事のやりがい
- Q3：仕事で大変なこと
- Q4：今後の目標

消防署第3警備課
救助係
酒井寛太さん
(令和4年4月採用)



消防署第2警備課
第1消防係
井上葵乃さん
(令和6年4月採用)

A1 オレンジ服に憧れて

5歳の時に事故現場に遭遇し、オレンジ服を着た救助隊が活動する姿を見て、カッコいいなと思ったのが興味を持ったきっかけです。学生時代に、少年消防クラブや消防団で活動する中で「絶対消防士になるんだ」と強い意志が生まれ、志願しました。

A2 市民を守るのが私の使命

生まれ育った海老名で、市民を守り続ける「使命」を担ったことです。救助が終わった後、現場付近の住民から「ありがとうございました」と声をかけてもらった時はうれしかったですし、自信になりました。

A3 隊員同士のケアが大切

災害現場での対応です。ロープの使い方など、技術面の大変さもありますが、亡くなった方と向き合うことも多いので、精神的に落ち込む時もあります。その日に起こったことを隊員同士で共有し、声をかけ合うことで、一人で抱え込まないようにしています。仕事とそれ以外の時間で、オン・オフの切り替えを心がけています。

A4 最前線で活躍したい

先輩の知識や技術に早く追いつき、責任ある仕事を任せてもらえるように頑張ります。救助隊として、海老名消防の最前線で市民の命を守るため、今後も努力し続けていきます。

A1 幼い頃に出会った救急隊を目指して

幼い頃、弟が救急隊にお世話になることがありました。その時の救急隊が、パニックになっていた私たち家族にも寄り添った言葉をかけてくれて、感銘を受けたことがきっかけです。救急救命士の資格が取得できる専門学校に通い、消防職員を目指しました。

A2 訓練の成果を災害現場で発揮

できなかったことができるようになった時や、学んだことを現場で生かした時にやりがいを感じます。職場体験で子どもたちに放水のやり方や火の取り扱いを教えることも、火災予防につながるのやりがいになります。

A3 市の発展と共に自分も成長

知識や技術を学び続けることです。多くのマンションが建ち、人口が増えている海老名市では、今までになかった災害が起こることがあり、臨機応変な対応と素早い判断が求められるからです。体力が男性の職員より劣ることにも大変さを感じます。資機材の持ち方を工夫するなど、毎日考えながら訓練をしています。

A4 傷病者に寄り添いたい

先輩の知識や技術をたくさん吸収し、現場で経験を積み、市民の安全・安心を守り続けていきたいです。幼い頃に出会ったような傷病者の立場に寄り添った消防士を目指して頑張ります。

最前線で働く消防職員の1日

警備課職員は24時間勤務の交替制です。ある日の1日を紹介します。

車両・積載物点検

9:00



車両の装備や積載する機材などを点検し、異常がないかを確認します。

訓練

13:00



出動以外の時間は災害想定訓練や資機材取り扱い訓練、車両走行訓練などを行います。

夕食作り(休憩)

18:00



隊員が食事を作る日もあります。大規模災害では長時間の活動を行うことから、非常時の食事確保の訓練も兼ねています。

清掃・交替準備

翌6:30



事務室・車庫の清掃、車両の洗浄や、交替職員への引き継ぎ事項の確認などをします。



8:30

勤務開始

当直勤務を終える職員から引き継ぎを受けます。車両の点検状況、災害・救急出動件数などを消防署長に報告します。



12:00

昼休み

昼休みの開始時間は規則性がなく、外食はできません。出動が多い日は昼食が夕方になることもあります。休み時間を使ってランニングや筋力トレーニングをする職員もいます。



15:00

事務処理

消火栓・防火水槽の点検結果、枯れ草や空き家の調査結果をデータ化したり、火災の原因などを分析したりします。



19:00

夜間訓練・事務処理

日中に引き続き、訓練や事務処理をします。



22:00

仮眠・受け付け勤務

夜間は仮眠をしますが、2時間おきに交替で電話対応を行います。仮眠中でも出動指令が入れば迅速に出動します。



翌8:30

勤務終了

消防トピックス

活動服をリニューアル

20年ぶりに活動服を一新しました。視認性を高めるため背面に「神奈川」の文字を追加し、漢字で「海老名消防」と表記しています。速乾性に優れた生地になりました。



Instagram

「【公式】海老名市消防本部」更新中

各種訓練や消防車両、食事作りの様子など、海老名消防の魅力を随時発信しています。

海老名市消防本部
Instagram



犯罪被害に遭った人へ支援を開始

閩市民相談課 ☎046 (235) 4567



案内ページ

犯罪被害に遭った人や家族・遺族の心に寄り添い、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、「海老名市犯罪被害者等支援条例」を制定しました。市の各種支援をお知らせします。詳細は、市ホームページをご覧ください。

市の各種支援

①②を満たす方を対象に見舞金支給などをします。支援内容により要件が異なります。
 ①ことし4月1日以降に犯罪が発生し、警察に被害届が受理された犯罪被害者
 ②犯罪発生時点で本市に住民登録がある

見舞金支給

- 遺族見舞金 30万円^函亡くなった被害者の遺族
- 重傷病見舞金 10万円(入院3日以上)、5万円(入院なし)^函重傷病を負った被害者
- 性犯罪被害見舞金 10万円(不同意性交など)、5万円(不同意わいせつなど)^函性犯罪の被害者

日常生活支援

- 家事などの日常生活や保育が困難になった時に利用したサービス費用などを助成します。
- 配食サービス費用の助成 1回1,000円まで(上限30回)
- 家事および介護等支援費用の助成 1時間4,000円まで(上限60時間)

- 一時保育サービス費用の助成 1回3,000円まで(上限10回)
- 一時預かりサービス費用の助成 1回7,200円まで(上限10回)
- 従前の住居に居住できなくなった場合の転居費用の助成 20万円まで(上限2回)

専門相談支援

- 弁護士無料法律相談 1回60分(2回まで)
- 無料カウンセリング 1回60分(10回まで)



電話相談窓口

市犯罪被害者等支援総合窓口(市民相談課内)	☎046 (235) 4567 ☎8時30分～17時15分 (土)(日)(祝)(振)除く)
かながわ犯罪被害者サポートステーション	☎045 (311) 4727 ☎9時～17時(日)(祝)(振)除く)
かならいん(かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター)	☎#8891 (プッシュ回線・携帯電話) ☎045 (322) 7379 (ダイヤル回線・IP電話) ☎24時間

犯罪被害者が直面する4つの問題

心身に負担がかかり、今までできていたことができなくなるなど、さまざまな問題に直面します。

心身の問題

強い不安感、眠れない、食欲がない、自分を責める、感情をコントロールできないなど

日常生活の問題

家事・育児・仕事が手につかない、外出ができない、自宅や自宅付近が事件現場で住み続けることができないなど

経済的な問題

仕事に行けず経済的に困窮する、医療費や弁護士費用などの出費が生じるなど

二次被害の問題

うわさ話や興味本位の質問、配慮に欠ける取材・報道、SNSによる個人情報のはり散りなど

二次被害を防止するために

- 犯罪被害者とその家族・遺族が平穏な日常生活を取り戻すためには、地域の皆さんの理解と支援が必要です。ご理解とご協力をお願いします。
- 被害者の気持ちや行動を批判しない
- 「寄り添う気持ち」を持って話を聞く
- 普段どおりに接しながら見守る
- 日常生活などができることを手伝える

令和7年度「海老名市都市間交流協会」会員を募集

閩海老名市都市間交流協会事務局(市民活動推進課内) ☎046(235)4794

海老名市都市間交流協会は、姉妹都市の宮城県白石市・北海道登別市をはじめ、災害時の相互応援協定締結都市などの交流の窓口として、さまざまな事業を行っています。

会員には都市間交流を目的とした特典があります。詳細は、同協会事務局へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。
 申込書と会費(下表)を直接海老名市都市間交流協会事務局へ。用紙は同協会事務局で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。

区分	会費	条件など
個人会員	市内 2,000円 ※中学生以下無料	市内在住・在勤・在学の方
	市外 3,000円 ※中学生以下2,000円	上記以外の方
団体会員(10人以上)	一般 1万円	教育・文化・スポーツ・福祉などの公共的活動を行う団体
	法人 3万円	市内に事務所などの拠点をおく法人



個人会員特典の例

- 市民視察などの会員限定企画への参加
- 「えびな市民まつり」の都市間交流実施自治体販売ブースのクーポン券配布
- 湯けむり交流支援助成



姉妹都市や災害時の相互応援協定締結都市の提携旅館宿泊費用を、2泊まで助成します。

【期間】毎年4月1日～3月31日
 【対象者】提携旅館に宿泊した会員

都市名	助成額(1泊)	
	高校生以上	4歳児～中学生
宮城県白石市	3,000円	1,000円
北海道登別市	6,000円	2,000円
新潟県新発田市	4,000円	1,000円
愛知県豊田市	3,000円	1,000円
長野県須坂市	3,000円	1,000円
群馬県太田市	2,000円	1,000円
山梨県甲斐市	2,000円	1,000円

令和7年度海老名市都市間交流協会の通常総会を開催 昨年度の事業報告や今年度の事業計画を決定します。
 日4月14日(月)10時から 場市役所703会議室 海老名市都市間交流協会会員

「広報えびな」の共通マークとルール

- 日時・日にち 期間 時間 場所
- 対象 定員 内容 講師 費用
- 持ち物 その他 任期 条件
- 主催 Eメール ホームページ
- 問い合わせ 申し込み 予約制
- 祝日・振替休日を除く 休み

高齢者対象の教室など
 えびな健康マイレージ対象

- 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは〒243-0492 海老名市役所〇〇〇課行)で届きます
- 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～(金)8時30分～17時15分」

重点事業一覧

事業名	事業の概要	関連するSDGsの目標
市政情報発信事業	「広報えびな」を発行し、全ての人にわかりやすい情報を伝達します。報道機関などへ情報提供を行い、市外にも広く行政情報を発信します。	12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、15 陸域生態系の保護、16 平和と公正、17 パートナーシップの強化
防災備蓄用食料購入事業	備蓄食料を計画的に購入し、災害時の避難者支援の充実を図ります。備蓄食料はイベントなどで活用し、フードロス削減を図ります。	11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、17 パートナーシップの強化
公用スマホ導入事業	職員用スマホを追加導入し、職員間の情報共有の簡素化と事務の効率化を図ります。	8 持続可能な成長、13 気候変動への対応
ペーパーレス・働き方改革事業	契約書の電子化などで、ペーパーレスを図ります。市が発注する土木工事における「週休二日制」のルール策定を行い、受注者の働き方改革を推進します。	3 健全な成長、8 持続可能な成長、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、15 陸域生態系の保護
人権意識啓発事業	人権擁護委員と連携し、講演会や各種コンクールなどさまざまな事業を行い、人権意識を啓発します。	3 健全な成長、4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等の実現、10 公平な社会と繁栄、11 持続可能な都市とコミュニティ、16 平和と公正、17 パートナーシップの強化
大会・教室等イベント実施事業	全ての市民がスポーツやレクリエーションを通して健やかな心と体を育み、笑顔で過ごせるよう、生涯スポーツ施策の充実と競技スポーツの振興を図ります。	3 健全な成長、4 質の高い教育をみんなに、17 パートナーシップの強化
デマンド型乗合タクシー「えび〜くる」事業	「えび〜くる」の実証実験を行い、高齢者の外出機会を創出し、閉じこもり防止や介護予防、認知症予防、生きがいづくりなどを推進します。	1 持続可能な社会を築く、3 健全な成長、10 公平な社会と繁栄、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップの強化
母子保健相談指導事業	各種事業や保健指導・相談など、妊娠・出産期から乳幼児期まで切れ目のない育児支援を行います。	1 持続可能な社会を築く、2 健康な生活とウェルビーイング、3 健全な成長、4 質の高い教育をみんなに、12 持続可能な消費と生産
SDGs普及啓発事業	民間事業者などと連携して普及啓発を行い、市全体のSDGs推進を図ります。	1 持続可能な社会を築く、2 健康な生活とウェルビーイング、3 健全な成長、4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等の実現、6 清潔な水と衛生、7 持続可能なエネルギー、8 持続可能な成長、9 産業とイノベーションの進歩、10 公平な社会と繁栄、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、14 海洋資源の持続可能な開発と保護、15 陸域生態系の保護、16 平和と公正、17 パートナーシップの強化
資源化啓発事業	資源化センターの見学会や各種教室を開催し、リサイクルやごみの分別の重要性などを啓発します。	11 持続可能な都市とコミュニティ、12 持続可能な消費と生産、14 海洋資源の持続可能な開発と保護、17 パートナーシップの強化
(仮称)大谷・杉久保地区公園整備事業	地権者・周辺施設と連携して公園整備を進め、地域の活性化と防災機能の強化を目指します。	3 健全な成長、9 産業とイノベーションの進歩、11 持続可能な都市とコミュニティ
中新田丸田地区土地区画整理事業	1ha規模の公園整備などを行い、災害に強いまちを目指すとともに、新たな居住区域や商業施設が作られることで、利便性が高く良好な住環境の形成を図ります。	8 持続可能な成長、9 産業とイノベーションの進歩、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップの強化
救急救命体制・応急手当普及啓発活動強化事業	救急救命士・指導救命士を養成し、知識と技術の維持向上を図ります。市内のAED配置計画の策定や救命講習受講者の増加により、救急現場の救命手当て実施率と救命率の向上を目指します。	3 健全な成長、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップの強化
火災予防活動事業	防火対象物の立ち入り検査を実施し、火災予防を啓発します。住宅用火災警報器の普及や事業所向けの消防訓練を実施し、安全・安心なまちを目指します。	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナーシップの強化
学校給食(フードロスの削減)事業	児童・生徒や保護者・教員に対し、動画などを活用してフードロスの削減を啓発します。子どもたちが食べたい給食を提供し、給食残滓の削減を図ります。	2 健康な生活とウェルビーイング、3 健全な成長、4 質の高い教育をみんなに、10 公平な社会と繁栄、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応、17 パートナーシップの強化
ライフ・スタディサポート事業	生活困窮世帯に属する中学生に、学習支援や日常的な学習習慣・学習環境の改善支援などを行います。高校などへの進学や社会的自立を促します。	1 持続可能な社会を築く、4 質の高い教育をみんなに、8 持続可能な成長、10 公平な社会と繁栄、17 パートナーシップの強化

えびなSDGs

市の重点ゴール・重点事業を決定

環境政策課 ☎046(235)4912

市は、持続可能なより良い未来を実現するため、SDGsの取り組みを推進しています。今年度から3年間で重点的に取り組む3つの「重点ゴール」と、16の「重点事業」を決定しました。いずれも3年ごとに見直しをしています。



これまでの市の取り組み

行政手続きオンライン化事業

LINEを活用した小・中学校の欠席連絡など、各種手続きをスマホで行えるようにオンライン化を推進し、市民の利便性向上を図りました。



学校給食(フードロスの削減)事業

小学校給食に続き、昨年4月に中学校の完全給食を開始しました。給食残滓の状況や処理費用の現状を児童・生徒に伝え、フードロスの削減を啓発するための授業を行いました。



カードゲーム&カヌーで学ぶSDGs

SDGsを学べるカードゲームと、自然を感じながらみんなで協力して目的地を目指すカヌーで啓発を図りました。



消防×SDGs展

廃棄予定の活動服を再活用したぬいぐるみなどを市役所に展示しました。



「えび〜くる」実証運行 10月31日まで延長

閩福祉政策課 ☎046(235)4820

高齢者の介護予防・健康づくりを目的に、乗り合いで運行するデマンド型交通「えび〜くる」の実証運行期間を10月31日(金)まで延長します。詳細は、市ホームページをご覧ください。



案内ページ

利用前に登録を

「えび〜くる」の利用には事前登録が必要です。郵送または直接福祉政策課へ。LINE「海老名市」からも登録できます。

- ① ①〜④の全てを満たす人
- ② ① 満65歳以上
- ③ ② 運転免許を所持していない



LINE「海老名市」

- ③ 「一介介護・要支援認定を受けている」「海老名市介護予防・生活支援サービス事業の利用対象である」「利用登録時に行うチェックリストの要件を満たす」のいずれかに該当する
 - ④ ④ 自身で車両の乗降ができる
- 本人確認書類(マイナンバーカード・健康保険証・運転履歴証明書など)、介護保険被保険者証(要介護・要支援認定者、介護予防・生活支援サービス利用者のみ)

6月2日(月)から運行日などを変更

【運行日】(月)〜(土)(祝)(振除く)
【運行時間】8時〜16時30分
【付添人の同乗】利用登録者以外の付き添い人は1人まで同乗可能で、運賃は片道500円です。予約時に付き添い人がいる旨を伝え、乗車時に「付添人カード」を提示します。カードの発行は申請が必要です。5月1日(木)から、利用登録者本人が電話または直接福祉政策課へ

带状疱疹ワクチン定期接種を開始

閩地域包括ケア推進課 ☎046(235)4951

国は、带状疱疹と合併症の発症を防ぐため、4月1日(火)から带状疱疹ワクチンの定期接種を開始します。従来行っていた任意接種も継続します。いずれも市内に住居登録がある高齢者などが対象です。実施指定医療機関などの詳細は、えびな健康だよりまたは市ホームページをご覧ください。



案内ページ

定期接種

対象者に案内はがきを送ります。接種時に持参してください。

任意接種

はがきは送られません。医療機関での支払い額は助成額を差し引いた額で、医療機関により異なります。

【助成額】生ワクチン(1回接種)／3000円、組み換えワクチン(2回接種)／1回1万円

対50歳以上の方

共通事項

各医療機関の予約方法に従って予約
本人確認書類(マイナンバーカードなど住所と生年月日が確認できるもの)・組み換えワクチンの2回目接種時は1回目の接種済証
他接種済みの方は助成対象外

対象者

年齢	生年月日
65歳	昭和35年4月2日〜36年4月1日
70歳*	昭和30年4月2日〜31年4月1日
75歳*	昭和25年4月2日〜26年4月1日
80歳*	昭和20年4月2日〜21年4月1日
85歳*	昭和15年4月2日〜16年4月1日
90歳*	昭和10年4月2日〜11年4月1日
95歳*	昭和5年4月2日〜6年4月1日
100歳*	大正14年4月2日〜15年4月1日
101歳以上*	大正14年4月1日以前

*…国の特例措置対象者

びなウェル健康教室

閩びなウェル ☎046(204)4560

エクササイズクラス

「軽やかに歩き、スムーズに走ろう！ヒップ&股関節エクササイズ！」
お尻と股関節のエクササイズだけが予防します。

5月25日(日) 8時30分〜9時40分
場ルネサンス海老名ビナガーデンズ24(めぐみ町3-1)ビナガーデンズパーチ
9階 対市内在住の18歳以上の方 定20人
人 園山口薫氏(健康運動指導士) 他託児あり

レクチャークラス

「頭痛治療のススメ」

頭痛の種類や危険度を学びます。痛みを予防する簡単な体操も行います。
5月31日(土) 13時〜13時45分 場びなウェル(めぐみ町3-1)ビナガーデンズパーチ6階 対市内在住の方 定20人
人 西山淳氏(トータルケアガーデン湘南海老名クリニック院長)



共通事項

費無料 4月9日(水)から(月)(水)(金)は13時〜20時、(土)(日)(祝)は10時〜20時に、電話または直接びなウェルへ。23日(水)締め切り 他応募多数の場合は抽選

温故館ミニ展示「龍峰寺千手観音像のひみつ〜国指定100周年記念〜」

閩教育総務課 ☎046(235)4925

大正14(1925)年4月24日に古社寺保存法により国宝に指定され(現在は国指定重要文化財)、こととして100周年を迎える「龍峰寺千手観音立像」をパネルで紹介いたします。
5月11日(日)まで 時9時〜17時15分 場海老名市温故館 費無料



写真提供/県立歴史博物館

「こころとカラダの健康教室」 「ともの輪」

閩地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950

参加者同士で交流しながら、年間を通して認知症・介護予防のための脳トレーニングや健康体操をします。申し込みは不要です。都合の良い日時に直接会場へ。詳細は、海老名市社会福祉協議会 ☎046(232)1600へ。

会場左表のとおり

対市内在住の65歳以上の方
定会場により先着12〜33人
費無料
他総合福祉会館の駐車場の利用は有料です

会場	曜日	開始日(4月)	時間
社家自治会館	第1・3(月)	7日	10時〜11時30分
大谷コミセン			
柏ヶ谷コミセン	第2・4(月)	14日	
杉久保コミセン			
国分北集会所	第1・3(火)	1日	
樽井集会所 NEW	第3(火)	15日	
勝瀬文化センター	第2・4(火)	8日	10時15分〜11時30分
総合福祉会館			13時30分〜15時
上郷自治会館	第1・3(水)	2日	10時〜11時30分
国分中央自治会館	第2・4(水)	9日	10時〜11時30分
上今泉コミセン			13時30分〜15時
本郷コミセン	第1・3(木)	3日	10時〜11時30分
総合福祉会館			13時30分〜15時
中野あいあい館	第2・4(木)	10日	10時〜11時30分
総合福祉会館			13時30分〜15時
門沢橋コミセン	第1・3(金)	4日	10時〜11時30分
中新田自治会館			13時30分〜15時
中新田コミセン	第2・4(金)	11日	10時〜11時30分

環境にやさしい設備や自動車の購入に補助金を交付

環境政策課 ☎046(235)4912

設置工事着手または車の新規登録の2週間前までに、環境政策課へ申請してください。詳細は、同課にお問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。予算額に達し次第終了します。

☎4月1日(火)～令和8年2月27日(金)

①市内の自宅や事業所に設置・導入②新規の設備・車両③市税などの滞納がない④令和8年3月31日(火)までに設置・導入し完了報告ができる

スマートハウス加算

「太陽光発電施設」と「HEMS」に加え、「定置用リチウムイオン蓄電池」「エネファーム」「V2H充放電設備」のいずれかを同時に設置する場合、左表の補助金額に2万円加算します。

対象	補助金額
太陽光発電施設	2万円/kw (上限20万円)
定置用リチウムイオン蓄電池	7万円
エネファーム	6万円
HEMS	1万円
V2H充放電設備	3万円
電気自動車	15万円
燃料電池自動車	40万円

中小企業と店舗に補助金を交付

商工課 ☎046(235)4843 ☎046(233)9118

地域経済や雇用を支える中小企業と店舗を応援するため、補助金を交付します。

中小企業振興支援事業

市内で1年以上採業している中小企業などの事業に補助金を交付します。

対象事業

ホームページの制作・リニューアル/求人広告掲載/展示会などへの出展/生産性向上などが目的の設備導入/産業財産権の取得/LED照明設備などの環境施設設置/依頼試験などの実施/人材育成/ISOなどの認証取得

☎4月1日(火)から、エントリー用紙を郵送・ファクスまたは直接商工課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可
他予算額に達し次第終了

中小企業退職金共済制度奨励補助金

市内に事業所があり、退職金共済制度に加入している事業者へ補助金を交付します。

対象期間

被共済者が加入した月から60月

交付金額

被共済者1人につき掛金の月額10割以内(限度額は年額7200円)



案内ページ

障がい者雇用促進奨励補助金

障がい者雇用の安定と促進を図るため、障がい者を雇用している市内の中小企業事業主に補助金を交付します。

☎障がい者を6カ月以上かつ週20時間以上常用雇用している市内中小企業事業主
補助金額
・新規雇用：10万円/人
・市内在住者を継続雇用：5万円/人
・市外在住者を継続雇用：4万円/人



案内ページ

「えびなものづくりガイド2025」への掲載企業を募集

優れた製品や技術を市内外に発信できます。冊子は、商工課・海老名商工会議所・展示会などで配布します。



案内ページ

☎商工課へお問い合わせください。4月30日(水)締め切り



耐震改修などに補助金を交付「住みたい住み続けたい」を支援

住宅まちづくり課 ☎046(235)9392

災害に強い安全なまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化・ブロック塀などの撤去費用を補助します。住宅の高断熱改修・中古住宅の取得も支援します。申請書などは住宅まちづくり課で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。詳細は、市ホームページをご覧ください。いずれも予算額に達し次第終了です。



案内ページ

名称	木造住宅耐震化促進補助金			ブロック塀等撤去費補助金
	耐震化	解体	防災ベッド・耐震シェルター(補助金を増額)	
金額	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断…上限10万円 耐震改修計画書作成…上限5万円(作成費の1/2を補助) 耐震改修工事…上限93万円(工事費などの1/2を補助) 	解体工事…最大50万円(工事費の1/2を補助。基本額30万円。①非課税世帯②空き家は各10万円加算)	<ul style="list-style-type: none"> 防災ベッド…上限30万円 耐震シェルター…上限45万円(いずれも設置費などの3分の2を補助) 	撤去工事…最大30万円(基本額20万円。通学路に面する場合10万円加算)
主な要件	<ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工した住宅 2階建て以下の在来工法による木造住宅 耐震性がない住宅(耐震診断を除く) 着手前・着工前 空き家も対象 住宅所有者の親族の申請も可能 		<ul style="list-style-type: none"> 昭和56年5月31日以前に着工した住宅 2階建て以下の木造住宅 居住している 	<ul style="list-style-type: none"> 道路に面している高さ60cm以上のブロック塀など 着工前 空き地も対象
受付	4月1日(火)～令和8年2月27日(金)の月～(祝祭日を除く)に住宅まちづくり課へ。			

普通救命講習(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)・上級救命講習・救命入門コース

警防課 ☎046(231)0932

①普通救命講習(Ⅰ)

成人に対する心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びます。

②普通救命講習(Ⅱ)

乳児・小児に対する心肺蘇生法とAEDの使い方を学びます。

③上級救命講習

乳児・小児に対する心肺蘇生法とAEDの使い方のほか、三角巾の使い方や骨折・やけどなどの処置方法と搬送方法を学びます。筆記・実技の試験もあります。

④子育て世代向け救命入門コース

乳児・小児の心肺蘇生法とAED使用体験のほか、救急救命士が子どもに多い救急事例などを話します。

☎5月17日(土)9時～12時②5月8日(木)9時～12時③5月24日(土)9時～17時④5月31日(土)10時～11時30分

☎①～③消防署本署④えびなこどもセンター

☎①～③市内在住・在勤・在学の中学生以上の方④市内在住の未就学児の保護者・妊婦とパートナー

☎①～③先着20人④先着15組

☎無料

☎4月8日(火)9時から、市ホームページで☎④はお子さんと一緒に参加可



救命入門コース案内ページ



救命講習案内ページ

パブリックコメント「海老名運動公園再整備計画(改定案)」

☎文化スポーツ課 ☎046(235)4927
☎046(233)9118

意見を募集します。同改定案は、文化スポーツ課・市役所情報公開コーナー・市ホームページ・市内スポーツ施設で閲覧できます。

【閲覧期間】4月1日(火)～30日(水)(土)(日)(祝除く)

【提出方法】LINE「海老名市」または市ホームページで。任意の書式に意見・住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・ファクスまたは直接文化スポーツ課へも可。匿名や電話・メールでの応募はできません。4月30日(水)締め切り(必着)

スズメバチ類の巣の除去処理業者

☎環境政策課 ☎046(235)4912

市民の依頼を受け、スズメバチ類の巣を除去する業者を募集します。登録要件を全て満たしていることが条件です。申請書などの必要書類は環境政策課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。詳細は、市ホームページをご覧ください。

募集

パブリックコメント「河原口高水敷『(仮称)スポーツ・コミュニティ広場』整備基本計画(案)」

☎文化スポーツ課 ☎046(235)4927
☎046(233)9118

意見を募集します。同案は、文化スポーツ課・市役所情報公開コーナー・市ホームページ・市内スポーツ施設で閲覧できます。

【閲覧期間】4月1日(火)～30日(水)(土)(日)(祝除く)

【提出方法】LINE「海老名市」または市ホームページで。任意の書式に意見・住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・ファクスまたは直接文化スポーツ課へも可。匿名や電話・メールでの応募はできません。4月30日(水)締め切り(必着)

電話のかけ間違いにご注意を

電話の際は、電話番号を確認の上、かけ間違いのないようお願いいたします。

自衛官募集の対象者情報提供を希望しない方へ

☎危機管理課 ☎046(235)4790

市は、自衛隊法第97条の規定に基づき自衛官と自衛官候補生の募集事務の一部を行っており、自衛官募集対象者情報(住所・氏名)を自衛隊に提供しています。情報提供を希望しない人は、申し出により除外することができます。詳細は、市ホームページをご覧ください☎平成19年4月2日～20年4月1日生まれで、市に住居登録をしている日本国籍の方☎4月1日(火)から、市ホームページまたは郵送で危機管理課へ。5月31日(土)締め切り(必着)

漏水調査にご協力を

☎海老名水道営業所 ☎046(234)4111

4月中旬～8月中旬の昼夜、宅地内の水道メーターや道路の漏水を調査します。宅地内の調査は昼間に行い、調査前に家主に声をかけます。調査費用を請求することはありません。調査員は県営水道が発行した顔写真入りの証明書を携帯し、腕章を着用しています。夜間は道路のみを調査します。

令和7年度国民年金保険料学生納付特例制度の申請受け付け

☎国保医療課 ☎046(235)4596
厚木年金事務所 ☎046(223)7171

在学期間中の国民年金保険料を社会人になってから納付できる「令和7年度学生納付特例制度」の申請を、4月1日(火)から受け付けます。申請は毎年度必要です。日本年金機構神奈川事務センター(〒220-8557住所不要)への郵送やマイナポータルでの手続きにご協力ください。市役所での手続きは予約が必要です。詳細は国保医療課へ。

屋内プール無料利用券配布対象を中学生に拡大

☎文化スポーツ課 ☎046(235)4927

今年度は配布対象を中学生まで拡大します。市立小・中学生は学校で配布、市立以外の小・中学生はオンライン申請を受けて発送します。利用期間は4月1日(火)～令和8年3月31日(火)です。☎市内在住の小・中学生☎市立以外の小・中学生は、直接文化スポーツ課または屋内プール施設へ。申請後、即日配布可。市内在住・市立以外の在学を証明するもの(コピー可)を持参

【利用可能プール】

海老名運動公園屋内プール・北部公園体育館屋内プール・高座施設組合屋内温水プール



案内ページ

「えびな市民まつり」11月16日に開催決定

☎えびな市民まつり実行委員会事務局(市民活動推進課内)
☎046(235)4794

ことしのえびな市民まつりは、11月16日(日)に海老名運動公園で開催します。花火の打ち上げやステージイベント、飲食ブースの出店などを予定しています。詳細は、本誌と市ホームページなどでお知らせします。



地域市民相談窓口を3カ所新設

☎地域づくり課 ☎046(235)4793

「市役所のどこに相談してよいのかわからない」などの質問に応じる窓口を、コミセンなどに設けています。4月1日(火)から、3カ所の窓口を新設します。相談は予約制です。詳細は各施設へ。

窓口設置施設	電話番号
NEW 大谷コミセン	☎046(233)4457
NEW 中新田コミセン	☎046(231)7438
NEW 勝瀬文化センター	☎046(235)3600
国分コミセン	☎046(235)2000
杉久保コミセン	☎046(238)7950
本郷コミセン	☎046(238)4889
社家コミセン	☎046(231)8415
下今泉コミセン	☎046(231)3750
国分寺台文化センター	☎046(233)0097

高齢者アンケートの集計結果

☎地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950

昨年8月に、ニーズ把握と今後の施策への反映を目的に、高齢者アンケートを実施しました。集計結果は市ホームページをご覧ください。案内ページ



案内ページ

マナーを守って猫を飼いましょう

☎環境政策課 ☎046(235)4912

◆無責任な餌やりはやめましょう
ふん尿の処理や餌の片づけなど、責任をもって管理してください。飼い主探しや、不妊去勢手術をする努力も必要です。

◆屋内で飼育しましょう
ふん尿などのトラブルを防止できる上、交通事故から守ることができます。

◆最後まで責任を持ちましょう
動物の遺棄は犯罪です。野良猫が繁殖することで、地域のトラブルにつながります。

お知らせ

公共施設附帯駐車場市民割引カードの更新を

☎市民活動推進課 ☎046(235)4794

公共施設附帯駐車場市民割引カードの有効期間は3年です。有効期限を過ぎたカードは割引引きが適用されません。有効期限の前月1日から手続き可。必要な人は更新手続きをしてください。詳細は、市ホームページをご覧ください。案内ページ



案内ページ

青年期のひきこもり相談相談窓口を変更

☎生活支援課 ☎046(235)9015

市のひきこもり相談窓口は、当事者年齢などにより異なります。20歳以上のひきこもり相談は、4月1日(火)から生活支援課が窓口です。各当事者の相談窓口は下表のとおりです。

当事者	相談窓口
19歳以下	教育支援課 教育支援センター
20歳以上	生活支援課
障がいのある方	障がい福祉課

フリースクールの授業料補助

☎教育支援センター ☎046(234)8764

フリースクールの授業料を補助します。利用開始から30日以内に、申請書を直接教育支援課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。

【補助金額】フリースクール授業料の2分の1(上限1万5,000円/月)

☎①～③を満たす方

①市内在住で、おおむね30日以上在籍学校に登校していない②週1日以上フリースクールを利用している③フリースクールでの様子に関する情報提供を承認する



☎健康推進課 ☎046(235)7880

クックパッド市公式ページでレシピを公開中▶



市管理栄養士や食生活改善推進団体えびな会などが考案した、体にやさしくおいしいレシピを紹介します。

デコレーション寿司

複数人で集まる時におすすめ。華やかさを添えるレシピです。

材料(4個分)

ごはん……………320g
酢……………大さじ2
砂糖……………大さじ1 A
塩……………小さじ1/2
ツナ缶(水煮)……………70g
砂糖……………小さじ2
しょうゆ……………小さじ2 B
みりん……………小さじ1
ニンジン……………36g
インゲン……………12g
卵……………1個
砂糖……………小さじ1 C
塩……………少々
サラダ菜……………4枚

作り方

① Aを混ぜ合わせる。ごはんAを加え、混ぜながらあら熱をとる。
② 汁を切ったツナを鍋に入れ、Bを加えて炒り煮にする。
③ ニンジンは輪切りにして花形で抜き、ゆでる。
④ インゲンは筋を取ってゆで、斜めうす切りにする。8切れ程度を飾り用に分けておく。
⑤ 卵は溶きほぐし、Cを加えて混ぜ、うす焼き卵にしてせん切りにする。
⑥ ラップを敷いた豆腐パックに⑤の卵1/4、①のすし飯1/8、④のインゲン1/4、②のツナ1/4、①のすし飯1/8を重ねて入れ、押し寿司にする。
⑦ 器にサラダ菜を敷き⑥を裏返して取り出す。盛り付けてニンジンとインゲンを飾る。



催し

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間

障がい福祉課 ☎046(235)4813

4月2日は「世界自閉症啓発デー」、同日～8日は「発達障害啓発週間」です。期間中、自閉症啓発のシンボルカラーの「癒やし、や「希望、を表す青色で、あゆみ橋のライトアップを行います。市役所エントランスホールでは自閉スペクトラム症や障がい者団体をパネルで紹介し4月2日(水)～8日(火)【ライトアップ】18時～22時【パネル展】初日は13時から、最終日は12時まで(閉庁日除く)

若年層の性暴力被害予防月間パネル展

市民相談課 ☎046(235)4568

若者・児童に対する性的な暴力を未然に防ぐためのパネル展です。性犯罪・性暴力に関する相談は、警察または「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」(☎#8891(はやくワンストップ))へ4月14日(月)～25日(金)(閉庁日除く、最終日は12時まで)場市役所エントランスホール

広報えびな 点字版・音声版

障がい福祉課 ☎046(235)4813

視覚障がいがある方に送ります。

県内事業者向け「カーボンニュートラル補助金活用セミナー」

商工課 ☎046(235)4843

カーボンニュートラル支援アドバイザーが企業の対話を交えて取り組み事例などを紹介します。補助金に関する個別相談会もあります。

4月24日(木)14時30分～16時30分 場市役所703会議室 県内の事業者 定先着60人 調渡邊一弘氏(カーボンニュートラル支援アドバイザー・中小企業診断士)、小林 猛氏(株)スタンダード運輸代表取締役) 費無料 申(公財) 神奈川産業振興センターホームページで。電話で同センター(☎045・633・5002)へも可。4月22日(火)12時締め切り



案内ページ

海老名むかしばなしを販売中

市役所地下売店で、「海老名むかしばなし」第二集～九集を各300円で販売しています。昭和53年～平成14年の広報えびなに掲載した伝説・実話など約450話を9冊に再編集したものです。

【営業時間】9時～14時(閉庁日除く)



ビナスポでアクアウォーキング(全6回)

地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950

水中ウォーキングのこつを身に付けます。

5月23日～6月27日の毎週(金)13時30分～15時 場えびな市民活動センタービナスポ 市内在住の65歳以上で、全6回参加できる方 定20人 費無料 申電話で地域包括ケア推進課へ。4月25日(金)締め切り 他初めての方優先。応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



トランスフィットネス教室(全6回)

地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950

移動式のトレーニングマシンを使った運動や、いすに座ってできる体操をします。

5月29日～7月3日の毎週(木)13時30分～15時 場総合福祉会館 市内在住の65歳以上で、全6回参加できる方 定15人 費無料 申電話で地域包括ケア推進課へ。5月1日(木)締め切り 他初めての方優先。応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



高齢者生きがい教室「男性健康空手体操教室」(全5回)

地域包括ケア推進課 ☎046(235)4951

空手の基本動作を取り入れた体操で、体幹を鍛えます。詳細は、海老名市シルバー人材センターへ。

4月17日～5月15日の毎週(木)13時30分～15時 場第一高齢者生きがい会館 市内在住の65歳以上で、全5回参加できる男性 定10人 調菊村敏彦氏(全日本空手道連盟錬武会七段教士) 費無料 申電話・ファクスまたはメールで、海老名市シルバー人材センター(☎046・237・3001 046・238・0071) ebina@sjc.ne.jp)へ。ファクス・メールの場合は、教室名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記載。4月11日(金)締め切り 他応募多数の場合は抽選

エックス 海老名市【公式】 @ebina_city_pr

市政情報、イベント情報、災害情報などを発信しています。



TNR講習会

環境政策課 ☎046(235)4912

飼い主がいらない猫を捕獲し、不妊または去勢手術を受けさせて元の場所へ戻すTNR活動の留意点、補助制度などを学びます。詳細は、市ホームページをご覧ください。

5月1日(木)14時～15時30分 場市役所401会議室 TNRを実施予定の市内在住の方・市内事業者など 定先着30人 調寺島美和子氏(海老名のら猫を増やさない会) 費無料 申LINE「海老名市」または電話で環境政策課へ。4月25日(金)締め切り 他TNR活動に係る手術費用補助を受けるには、講習会の受講が必要です。3年ごとの更新制です

海老名市イメージキャラクターえび～にゃ市公式LINEスタンプうきうきスプリング編

入学やお花見など、春のイベントをイメージしたイラストがメインです。スタンプ40種類で1セットです。 費120円(LINESTOREで購入の場合) / 50コイン(LINE内通貨)



スタンプ販売ページ



分別・水切り・減量化 私にできる小さな一歩⑩



ごみの分別へのご協力ありがとうございます。ごみの減量化を進めていくためには正しい分別が大切です。問い合わせの多い分別方法を、毎月1日号で紹介し

環境政策課 ☎046(235)4923



サイト「ごみサク」

生ごみ

減らす方法は？

生ごみの減量は水切りが効果的です。軽くなる、臭いにくくなる、かさが減るなどのメリットがあります。生ごみ処理機などを使う方法も有効です。



濡らさない 野菜の皮などは濡れやすいところに置かず、むいたら捨てましょう。

乾かす 茶殻やティーバッグは、水気をしぼり、乾かしましょう。

しぼる 重しを載せて水を切る方法が効果的です。



食材は買い過ぎない、作り過ぎないようにね。生ごみになるものを減らす考え方も大切に～



妊婦と子どもの支援を拡充

問こども育成課 ☎046(235)7885

4月1日(火)から、妊婦と子どもが対象の各種補助制度を拡充します。詳細は、こども育成課に問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

「妊婦健康診査」費用の補助

母子健康手帳と一緒に交付している「海老名市妊婦健康診査費用補助券」の補助額を、合計8万5,000円(多胎妊婦は10万5,000円)に増額します。補助券を交付済みで、4月1日以降に妊婦健康診査を受ける人には案内を発送します。

券種	補助額(補助回数)
医療機関専用券	15,000円(1回)
	10,000円(1回)
3回目~14回目	5,000円(12回)
15回目~19回目 (多胎妊婦のみ)	4,000円(5回)

「1か月児健康診査」費用の補助

母子健康手帳と一緒に「海老名市1か月児健康診査費用補助券」を交付します。受診日に本市に住民登録がある赤ちゃんが対象で、補助額は4,000円です。

妊婦のための支援給付

「出産・子育て応援給付金」に代わる国の制度です。給付金の申請に合わせ、保健師・助産師が面談を行い、出産・育児に関する相談に応じます。給付金は産前産後の期間に2回に分けて支給します。1回目は妊娠1回につき5万円、2回目は妊娠した子1人につき5万円を支給します。

世帯数と人口

〈令和7年3月1日現在〉

世帯数

63,288世帯
(62,030世帯)

人口

141,320人
(140,046人)

男 70,863人
(70,343人)

女 70,457人
(69,703人)

※()内は前年同月
(令和6年3月)の値

今月の納税・納付

〈納期限4月30日(水)〉

- 市営住宅使用料 [4月]
- 保育所保育料 [4月]



納付は口座振替が便利です。

※みずほ銀行・りそな銀行窓口での
公金納付は、3月31日で終了しました

今月の
話題

えびな



「え」の字の先をふとく工夫した。

海老名小学校 いまいれんと 今井廉人さん(10歳)

編集
雑記

市民を守るため、過酷な災害現場で働く消防職員。彼らと話すと、仕事への情熱を感じるし、パワーをもらいます。自分自身を癒やす方法を理解している人も多く、同じ市職員ですが、学ぶことがたくさんありました。私も自分の仕事に誇りをもち、日々成長していきたいです。(芹)